自大正~~十四~~七年
至昭和~~五~~六年

預金協定ニ関スル資料

名古屋支店管内

名古屋支店

2714
旧番号
A2719

門 18.
番 816.

調査局
保管公文
保存年限 年

財政金融係

消印
消印
消印
消印

協定ニ関スル資料

名古屋

名古屋支店

大正十四年貳月貳日　名古屋支店管内預金協定ニ関スル送附書

(ロ) 名古屋銀行集會所組合銀行預金利率協定規約

大正十四年三月六日　名古屋支店管内各地預金協定規約並ニ規約創始以来

…變遷ニ関スル送附書

日本銀行

日本銀行

名古屋支店

大正十四年貳月貳日　名古屋支店管内預金協定ニ関スル送附書

(a) 名古屋銀行集會所組合銀行預金利率協定規約

大正十四年三月六日　名古屋支店管内各地預金協定規約並ニ規約創始以来ノ變遷ニ関スル送附書

金融係 存保年 永久 門目號 第1 第3 第3/四

大正　年　月　日

日本銀行名古屋支店

大正拾四年弐月弐日

名古屋支店

調査局

御中

一月廿一日付御依頼相成候當店管内各地預金協定規約書及加盟銀行名中不取敢

現行

名古屋銀行集會所組合銀行　預金協定規約及同加盟銀行名

別紙御送付申上候也

大正　年　月　日

秘

調査局資料 14.2.4.

名古屋銀行集會所組合銀行

預金利率協定規約

大正十四年一月

現在）

安田貯蓄銀行名古屋支店

山口銀行名古屋支店

藤本ビルブローカー銀行名古屋支店

名古屋銀行集會所組合銀行 預金利率協定規約

大正十一年三月二十五日決議

第一章　總則

第一條　名古屋銀行集會所組合銀行ハ現在ノ情況ニ鑑ミ預金利率ノ協定ヲ必要トシ本規約ヲ定メ之ヲ誠實ニ遵守スルコトヲ約ス

第二條　名古屋市ノ附近町村ニ於ケル組合銀行ノ營業所ハ本規約ノ適用ヲ受クルモノトス

第三條　本規約ハ公表セサルモノトス

第四條　本規約ハ日本銀行名古屋支店ニ通知シ其承認ヲ求メ置クモノトス

第五條　本規約ニ依ル組合銀行ノ總會ハ名古屋銀行集會所規約中總會ニ關スル條項ヲ準用スルモノトス

第二章　利率

第六條　預金公表利率左ノ如シ

定期預金	年利六分以下
當座預金	日歩七厘以下

一

（……月現在）

……行　……行　……行　……銀行
……屋支店　……支店　……支店

藤本ビルブローカー銀行名古屋支店

安田貯蓄銀行名古屋支店

山口銀行名古屋支店

大正十年二月二十八日決議

第七條　組合銀行ハ得意先ノ關係等ヲ斟酌シテ甲乙二種ニ分チ乙種ハ左ノ限度迄利率ヲ增加スルコトヲ得

特別又ハ小口當座預金	日步	壹錢壹厘以下
貯蓄預金	年利	四分八厘以下
	日步	壹錢壹厘以下
通知預金	日步	壹錢貳厘以下

定期預金限度	年利	參厘以下
當座預金限度	日步	壹厘以下
特別又ハ小口當座預金限度	日步	壹厘以下
貯蓄預金限度	甲乙	ナシ
通知預金限度	甲乙	ナシ

前項甲乙兩種ハ各組合銀行ノ自ラ撰擇スル所ニヨル但其撰擇ヲ不當ト認ムルトキハ組合銀行三分ノ二以上ノ決議ヲ以テ之ヲ變更スルコトヲ得

第八條　組合銀行ハ前條ニ依リ利率ヲ增加スル外如何ナル名義又ハ方法ヲ以テスルニ拘

第九條　組合銀行ハ各種預金ノ利息ヲ前拂スルヲ得ス但被傭人ノ強制積立金、身元保證金及

大正十一年三月二十五日改正

第十條　定期預金ノ期間ハ如何ナル塲合ト雖モ六ケ月ヲ下ルコトヲ得ス但六ケ月以內ニ於テ拂戻ス塲合ハ其利率ハ特別又ハ小口當座預金ノ利率ヲ超過スルコトヲ得ス

第十一條　組合銀行ニシテ「コールマネー」借入金等預金ニアラサルモノヲ預金科目ニ編入シタルトキハ之ヲ預金ト見做ス實質上預金タルヘキモノニ對シ「コールマネー」借入金等ノ名稱ヲ附シ第七條ニ反スル取扱ヲ爲スコトヲ得ス

第十二條　內國爲替勘定預金利率ハ第六條小口當座預金利率ノ限度ヲ超過スル事ヲ得ス

大正十年二月二十八日決議

第十三條　當座預金利息ノ計算ハ日々ノ最低殘高ニ依ルモノトス

當座預金五百圓未滿ニハ利子ヲ附セズ但百圓ヲ以テ單位トス

第三章　違約處分

第十四條　組合銀行ニ於テ本規約所定ノ限度ヲ超過シタル利息ヲ支拂ヒ若クハ其約定ヲ爲シタルモノハ實行委員ノ審查ヲ經タル上組合銀行總會ノ決議ニ依リ違約金參千圓ヲ徵スヘシ

第十五條　前條ノ違約金ヲ徵セラレタル銀行ニシテ再ヒ協定ニ違反シタルトキハ實行委員ノ審查ヲ經タル上組合銀行總會ノ決議ニヨリ名古屋手形交換所組合銀行及名古屋銀

安田貯蓄銀行名古屋支店
山口銀行名古屋支店
藤本ビルブローカー

行集會所組合銀行ヲ除名スヘシ

前項及第十四條ノ決議ハ組合銀行三分ノ二以上ノ多數ヲ得ルコトヲ要ス

第四章　實行委員及審査員

第十六條　本規約實行ノ爲メ組合銀行ニ於テ其總員ノ半數ヲ實行委員ニ選擧スヘシ選擧ノ方法ハ名古屋銀行集會所規約中委員ニ關スル條項ヲ準用シ其任期ヲ半ケ年トス

第十七條　實行委員ハ規約違反ノ事實ヲ審査セシムル爲メ審査員三名ヲ選定ス

審査員ハ組合銀行中ヨリ二名及名古屋銀行集會所書記長ヲ以テ之ニ充ツ

選定セラレタル審査員ハ故ナク辭任スルヲ得ス

第十八條　實行委員ハ審査員ヨリ規約違反ノ事實ヲ認定シタル報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ被審査銀行ニ告知シ三日ヲ經テ異議ノ申出ヲ受ケサルトキハ第十四條及第十五條ノ手續ヲ行フ

第十九條　被審査銀行ニシテ前條ノ告知ニ對シ異議アルトキハ帳簿及關係書類ヲ審査員ニ閲覽セシムルコトヲ諸シ再審査ヲ請求スルコトヲ得

再審査ノ結果實行委員ノ認定ニ對シテハ更ニ異議ヲ申出ツルコトヲ得ス

（大正十一年三月二十五日決議）

第二十條　本規約ハ大正十一年四月一日ヨリ實施スルモノトス

前項期日前ニ取扱タル定期預金利率ハ其期日迄之ヲ變更スルヲ要セスト雖モ滿期後ノ利率ハ第七條ノ限度ヲ超過スルコトヲ得ス當座預金、特別又ハ小口當座預金及通知預金利率ハ施行期日ニ於テ變更スルモノトス

第二十一條　組合銀行ハ施行期日前ニ預金公表利率ヲ新聞紙ニ廣告スヘシ爾後改正ノ塲合亦同シ

廣告ノ費用ハ組合銀行均一ニ負擔スルモノトス

第二十二條　預金ハ如何ナル名稱ヲ以テスルモ其實質ニ從ヒ第六條及第七條ニ規定シタル利率ヲ適用スルモノトス

通知預金小口當座預金其他如何ナル名稱ヲ以テスルモ小切手ヲ使用スルモノハ當座預金ト看做ス

（大正十年二月二十八日決議）

第二十三條　据置貯金定期積金其他之ト類似ノ性質ヲ有スル貯蓄預金ノ利率ハ年利計算ノモノハ定期預金甲種ノ利率ヲ超過スルコトヲ得ス

第二十四條　各預金證書ニハ其利率（第七條ニ依リ利率ヲ增加シタルモノハ其利率）ヲ明記スルコトヲ要ス

安田貯蓄銀行名古屋支店
山口銀行名古屋支店
藤本ビルブローカー
名古

第二十五條　組合銀行ハ預金受拂ノ爲メ集配人ヲ派出スルコトヲ得ス但豫メ屆出ヲ爲シタル特定ノ場所ニ派出員ヲ出張セシムルハ此限リニアラス

第二十六條　本規約ノ廢止又ハ條項ノ變更ハ組合銀行三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

本規約加盟ノ證トシテ左ニ記名捺印シ名古屋銀行集會所ニ保存スルモノナリ

大正九年二月十四日

加盟銀行（イロハ順）

株式會社伊藤銀行
株式會社近江銀行名古屋支店
株式會社横濱正金銀行名古屋支店
株式會社第一銀行名古屋支店
株式會社名古屋銀行
株式會社安田貯蓄銀行名古屋支店
株式會社藤本ビルブローカー銀行名古屋支店
株式會社十五銀行名古屋支店
株式會社尾三銀行
株式會社日本貯蓄銀行
株式會社神田銀行名古屋支店
株式會社多治見銀行名古屋支店
株式會社左右田銀行名古屋支店
株式會社村瀬銀行
株式會社山口銀行名古屋支店
株式會社愛知銀行
株式會社百五銀行名古屋支店
株式會社住友銀行名古屋支店

附帶規約

一　本組合銀行ノ各地支店出張所ハ可成本規約ノ利率又ハ之ニ近キ利率ヲ以テ當該地方ノ同業者ヲシテ實行セシムルコトヲ努ムルコト

二　協定規約第二條ノ附近ノ町村ハ左ノ如ク之ヲ定ム
枇杷島、新川、牧野、清水、大曾根、稻生、荒子、呼續、御器所、大高、鳴海、勝川、瀬戸、小碓、烏森

三　通知預金ハ一口參萬圓以上トシ通帳ヲ發行セス預金證書ト爲シ其内出ヲ許サス

四　定期預金利子ニ對スル所得税ハ利子仕拂ノ際銀行ニ於テ該税金額ヲ控除シテ仕拂ヲナスモノトス
但東京及大阪組合銀行ニ於ケル決議ニシテ之ト相違スル場合ハ更メテ右決議ヲ變更スルコトアルヘシ

安田貯蓄銀行名古屋支店
山口銀行名古屋支店
藤本ビルブローカー
名古

コールマネー利率ニ關スル申合

「コールマネー」ノ利率ヲ左ノ通リ定ム

一　無條件「コールマネー」（翌日拂ヲ含ム）ノ利率ハ小口當座預金ノ利率ヲ超過スルコトヲ得ス

二　三十日以上据置「コールマネー」ノ利率ハ定期預金ノ公表利率ヲ超過スルコトヲ得ス

三　一般銀行及ビルブローカー間ノ「コールマネー」ハ前二項ニ依ルノ限ニアラス

四　「コールマネー」ノ取引ニ就テハ翌日拂ヲ除クノ外預金證書ヲ使用スルコトヲ得ス

（大正十一年三月二十五日決議）

規約解釋例

一　期限經過後ノ定期預金ヲ六ケ月以內ニ支拂フ場合ノ利息步合ハ小口又ハ特別當座預金ノ利率ヲ超過スルコトヲ得ス（大正十一年三月二十五日決議）

一　定期預金ノ滿期日カ公休日ニ相當シ其ノ次ノ營業日ニ支拂ヲナス場合ニハ小口又ハ特別當座預金ノ利率以上ヲ附スルコトヲ得ス（大正八年三月十八日決議）

二　在外者ノ預金ニシテ定期預金ノ取扱ヲナスモノハ名稱ノ如何ニ拘ラス定期預金利率迄ヲ附スルコトヲ得

但預金通帳又ハ證書ニ在外者タルコトヲ明記スルコトヲ要ス（同）

三　定期預金期限內ノ支拂利息ハ期限ノ半ヲ經過シタルモノニ對シテハ契約利率ノ年利五厘引トス（大正八年七月十八日決議）

四　期限ノ半ヲ經過セサル定期預金ノ支拂利息ハ總テ小口當座日步トス（同）

五　期限ノ半ヲ經過スルモ六ケ月未滿ノ定期預金ノ支拂利息ハ小口當座日步トス（大正十一年三月二十五日決議）

六　官公署其他特別ノ場合ノ外預金ニ對シテハ担保ヲ提供セサルモノトス（大正十年七月十九日決議）

七　預金協定規約第二十三條ノ規定ニ對シテ据置貯金定期積金其他之ト類似ノ性質ヲ有スル貯蓄預金利率ガ第六條ノ利率ト牴觸スルトモ當分默認スルモノトス（大正十年七月二十九日決議）

八　定期預金ノ期日ハ暦月ニ依ルモノトス

安田貯蓄銀行名古屋支店
山口銀行名古屋支店
藤本ビルブローカー
名古

申合事項

一従來ノ慣例ニ從ヒ年末及中元ニ於テ輕微ノ贈物ヲ得意先ニ配付スルハ差支ナキモ商品券其他相當價格ノ物品ヲ贈物トスルハ協定違反ト認ムルコト

二協定利率以上ノ預金利子ヲ仕拂ハンガ爲メ協定區域外ノ銀行名義ヲ以テ預金ヲ受入ルトキハ協定違反ト認ムルコト

大正八年九月十五日決議

右二個條ノ申合ハ各自德義ヲ重ンジ之ヲ遵守スヘキニ付特ニ成文ヲ以テ規定セス

大正八年九月十五日決議

三定期預金ハ一部ノ仕拂ヲ爲スコトヲ得ス

安田貯蓄銀行名古屋支店
山口銀行名古屋支店
藤本ビルブローカー
名古

名古屋銀行集會所組合銀行

（大正十四年一月現在）

預金協定加盟銀行甲、乙種別

甲

伊藤銀行

名古屋銀行

愛知銀行

明治銀行

近江銀行名古屋支店

横濱正金銀行名古屋支店

第一銀行名古屋支店

安田貯蓄銀行名古屋支店

山口銀行名古屋支店

乙

村瀬銀行

愛知農商銀行

尾三銀行

日本貯蓄銀行

神田銀行名古屋支店

多治見銀行名古屋支店

左右田銀行名古屋支店

藤本ビルブローカー銀行名古屋支店

三井銀行名古屋支店
三菱銀行名古屋支店
十五銀行名古屋支店
住友銀行名古屋支店

百五銀行名古屋支店

名營特第二一號

大正十四年三月六日

名古屋支店

調査局御中

一月卅一日付御依頼相成候當店管内各地預金協定規約並ニ規約創始以來ノ變遷書類別冊ノ通リ及御送付候也

追テ二月二日付御送付申上候「名古屋銀行集會所組合銀行預金利率協定規約」中加盟銀行ニ左記五行御追記被下度尚乙種別表モ併セテ御訂正被下度候

甲種　名古屋貯蓄銀行

乙種

左右田貯蓄銀行
村瀬貯蓄銀行
農商貯蓄銀行
三重共同貯蓄銀行名古屋代理店

目次

一、名古屋銀行集會所組合銀行
二、丹羽郡同盟銀行會
三、尾北組合銀行
四、尾西同盟銀行
五、知多同盟銀行會
六、西三同盟銀行會
七、東三同盟銀行會
八、三重縣同盟銀行會
九、岐阜市組合銀行　附岐阜縣銀行會對產業組合
十、西濃組合銀行
十一、濱松同盟銀行
十二、遠江同盟銀行
十三、靜岡市組合銀行

八、名古屋

調査資料
14.3.10
調査局

(創始)

名古屋銀行集會所組合銀行預金利率協定規約

第一章　總則

第一條　名古屋銀行集會所組合銀行ハ現在ノ情況ニ鑑ミ預金利率ノ協定ヲ必要トシ本規約ヲ定メ之ヲ誠實ニ遵守スルコトヲ約ス

第二條　名古屋市ノ附近町村ニ於ケル組合銀行ノ營業所ハ本規約ノ適用ヲ受クルモノトス

第三條　本規約ハ公表セサルモノトス

第四條　本規約ハ日本銀行名古屋支店ニ通知シ其承認ヲ求メ置クモノトス

第五條　本規約ニ依ル組合銀行ノ總會ハ名古屋銀行集會所規約中總會ニ關スル條項ヲ準用スルモノトス

第二章　利率

第六條　預金公表利率左ノ如シ

定期預金　年利五分五厘

當座預金　日歩八厘

特別又ハ小口當座預金　日歩一錢一厘

通知預金利率ハ特別又ハ小口當座預金利率ト同一トス

第七條　組合銀行ハ得意先ノ關係ヲ斟酌シテ甲乙二種ニ分チ各左ノ限度迄利率ヲ増加スルコトヲ得

定期預金限度　年利　甲五厘　乙七厘

當座預金限度　日歩（甲乙共）二厘

特別又ハ小口當座預金限度
通知預金限度　日歩（甲乙共）二厘

前項甲乙丙種各組合銀行ノ自ラ撰擇スル所ニヨル但一旦選定シタル上ハ組合銀行三分ノ二以上ノ承諾ヲ得ルニアラサレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第八條　組合銀行ハ前條ニ依リ利率ヲ增加スル外如何ナル名義又ハ方法ヲ以テスルニ拘ラス之ヨリ超過シタル利息ヲ支拂フコトヲ得ス但使用人ノ強制積立金、身元保證金及救濟、獎勵優遇ヲ目的トスル使用人ノ預金ハ此限リニアラス

第九條　組合銀行ハ各種預金ノ利息ヲ前拂スルコトヲ得ス

第十條　定期預金ノ期間ハ如何ナル場合ト雖モ三ケ月ヲ下ルコトヲ得ス但三ケ月以内ニ於テ拂戾ス場合ハ其利率ハ特別又ハ小口當座預金ノ利率ヲ超過スルコトヲ得ス

第十一條　組合銀行ニシテ「コールマネー」借入金等預金ニアラ

サルモノヲ預金科目ニ編入シタルトキハ之ヲ預金ト見做ス實質上預金タルヘキモノニ對シ「コールマネー」借入金等ノ名稱ヲ附シ第七條ニ反スル取扱ヲ爲スコトヲ得ス

第十二條　内國爲替勘定預金利率ハ第六條小口當座預金利率ノ限度ヲ超過スルコトヲ得ス

諸貸付金ノ内入返濟金ヲ別段預金トスル場合ハ其利率ハ貸付利率ト同一ニスルヲ妨ケス

第十三條　當座預金利息ノ計算ハ日々ノ最低殘高ニ依ルモノトス

當座預金參百圓未滿ニハ利子ヲ附セス但百圓ヲ以テ單位トス

第三章　違約處分

第十四條　組合銀行ニ於テ本規約所定ノ限度ヲ超過シタル利息ヲ支拂ヒ若クハ其約定ヲ爲シタルモノハ實行委員ノ審査ヲ經タ

ル上組合銀行總會ノ決議ニ依リ違約金參千圓ヲ徴スヘシ

第十五條　前條ノ違約金ヲ徴セラレタル銀行ニシテ再ヒ協定ニ違反シタルトキハ實行委員ノ審査ヲ經タル上組合銀行總會ノ決議ニ依リ名古屋手形交換所組合銀行及名古屋銀行集會所組合銀行ヲ除名スヘシ

前項及第十四條ノ決議ハ組合銀行三分ノ二以上ノ多數ヲ得ルコトヲ要ス

第四章　實行委員及審査員

第十六條　本規約實行ノ爲メ組合銀行ニ於テ實行委員七名ヲ選擧スヘシ選擧ノ方法及其任期ハ名古屋銀行集會所規約中委員ニ關スル條項ヲ準用ス

第十七條　實行委員ハ規約違反ノ事實ヲ審査セシムル爲メ審査員三名ヲ選定ス

審査員ハ組合銀行中ヨリ二名及名古屋銀行集會所書記長ヲ以テ之ニ充ツ

選定セラレタル審査員ハ故ナク辭任スルヲ得ス

第十八條　實行委員ハ審査員ヨリ規約違反ノ事實ヲ認定シタル報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ被審査銀行ニ告知シ三日ヲ經テ異議ノ申出ヲ受ケサルトキハ第十四條及第十五條ノ手續ヲ行フ

第十九條　被審査銀行ニシテ前條ノ告知ニ對シ異議アルトキハ帳簿及關係書類ヲ審査員ニ閲覽セシムルコトヲ諾シ再審査ヲ請求スルコトヲ得

再審査ノ結果實行委員ノ認定ニ對シテハ更ニ異議ヲ申出ツルコトヲ得ス

第五章　附　則

第二十條　本規約ハ大正七年十二月十四日ヨリ施行スルモノトス
前項期日前ニ取扱タル定期預金利率ハ其期日迄之ヲ變更スル
ヲ要セスト雖モ滿期後ノ利率ハ第七條ノ限度ヲ超過スルコト
ヲ得ス當座預金、特別又ハ小口當座預金及通知預金利率ハ施
行期日ニ於テ變更スルモノトス
內國爲替勘定預金利率ハ大正八年一月十五日迄ニ變更スルモ
ノトス
第二十一條　組合銀行ハ施行期日前ニ預金公表利率ヲ新聞紙ニ廣
告スヘシ爾後改正ノ場合亦同シ
廣告ノ費用ハ組合銀行均一ニ負擔スルモノトス
第二十二條　預金ハ如何ナル名稱ヲ以テスルモ其實質ニ從ヒ第六
條及第七條ニ規定シタル利率ヲ適用スルモノトス

通知預金小口當座預金其他如何ナル名稱ヲ以テスルモ小切手ヲ使用スルモノハ當座預金ト看做ス

第二十三條　貯蓄預金ノ利率ハ年利計算ノモノハ定期預金甲種、日歩計算ノモノハ特別又ハ小口當座預金ノ利率ヲ超過スルコトヲ得ス

第二十四條　各預金證書ニハ其利率（第七條ニ依リ利率ヲ增加シタルモノハ其利率）ヲ明記スルコトヲ要ス

第二十五條　組合銀行ハ預金受拂ノ爲メ集配人ヲ派出スルコトヲ得ス但豫メ屆出ヲ爲シタル特定ノ場所ニ派出員ヲ出張セシムルハ此限リニアラス

第二十六條　本規約ノ廢止又ハ條項ノ變更ハ組合銀行三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

本規約加盟ノ證トシテ左ニ記名捺印シ名古屋銀行集會所ニ保存スルモノナリ

大正七年十二月十日

甲種

名古屋銀行
愛知銀行
明治銀行
明治貯藏銀行
第一銀行名古屋支店
近江銀行名古屋支店
三井銀行名古屋支店
三菱銀行名古屋支店
住友銀行名古屋支店

乙種

伊藤銀行
村瀬銀行
愛知農商銀行
十六銀行名古屋支店
左右田銀行名古屋支店
増田ビルブローカー銀行名古屋支店
藤本ビルブローカー銀行名古屋支店

コールマネー利率ニ關スル申合

「コールマネー」ノ利率ヲ左ノ通リ定ム

一、無條件「コールマネー」（翌日拂ヲ含ム）ノ利率ハ小口當座預金ノ利率ヲ超過スルコトヲ得ス

二、三十日以上据置「コールマネー」ノ利率ハ定期預金ノ公表利率ヲ超過スルコトヲ得ス

三、一般銀行及ビルブローカー間ノ「コールマネー」ハ前二項ニ依ルノ限ニアラス

四、「コールマネー」ノ取引ニ就テハ翌日拂ヲ除ク外預金證書ヲ使用スルコトヲ得ス

附帶規約

一、本組合銀行ノ各地支店出張所ハ可成本規約ノ利率又ハ之ニ近キ利率ヲ以テ當該地方ノ同業者ヲシテ實行セシムルコトヲ勉ムルコト

二、協定規約第二條ノ附近町村ハ左ノ如ク之ヲ定ム

枇杷島、新川、牧野、清水、大曾根

名古屋銀行集會所組合銀行預金利率協定規約

（大正九年二月現在）

第一章　總則

第一條　名古屋銀行集會所組合銀行ハ現在ノ情況ニ鑑ミ預金利率ノ協定ヲ必要トシ本規約ヲ定メ之ヲ誠實ニ遵守スルコトヲ約ス

第二條　名古屋市ノ附近町村ニ於ケル組合銀行ノ營業所ハ本規約ノ適用ヲ受クルモノトス

第三條　本規約ハ公表セサルモノトス

第四條　本規約ハ日本銀行名古屋支店ニ通知シ其承認ヲ求メ置クモノトス

第五條　本規約ニ依ル組合銀行ノ總會ハ名古屋銀行集會所規約

中總會ニ關スル事項ヲ準用スルモノトス

第二章　利率

第六條　預金公表利率左ノ如シ

定期預金　年利六分五厘以下

當座預金　日歩壹錢壹厘以下

特別又ハ小口當座預金　日歩壹錢參厘以下

通知預金　日歩壹錢九厘以下

第七條　組合銀行ハ得意先ノ關係等ヲ斟酌シテ甲乙二種ニ分チ乙種ハ左ノ限度迄利率ヲ增加スルコトヲ得

定期預金限度　年利貳厘以下

當座預金限度　甲乙ナシ

名古屋銀行集會所

特別又ハ小口當座預金限度　日歩壹厘以下
通知預金限度　甲乙ナシ
前項中乙兩種ハ各組合銀行ノ自ラ指擇ニヨル但其指擇ヲ不當
ト認ムルトキハ組合銀行三分二以上ノ決議ヲ以テ之ヲ變更ス
ルコトヲ得

第八條　組合銀行ハ前條ニ依リ利率ヲ增加スル外如何ナル名義
又ハ方法ヲ以テスルニ拘ラス之ヨリ超過シタル利息ヲ支拂フ
コトヲ得ス但使用人ノ强制積立金、身元保證金及救濟、奬勵、
慰勞ヲ目的トスル使用人ノ預金ハ此限リニアラス

第九條　組合銀行ハ各種預金ノ利息ヲ前拂スルコトヲ得ス

第十條　定期預金ノ期間ハ如何ナル場合ト雖モ三ケ月ヲ下ルコ

トヲ得ス但三ケ月以內ニ於テ拂戾ス場合ハ其利率ハ特別又ハ小口當座預金ノ利率ヲ適用スルコトヲ得ス

第十一條　組合銀行ニシテ「コールマネー」借入金等預金ニアラサルモノヲ預金科目ニ編入シタルトキハ之ヲ預金ト見做ス

實質上預金タルヘキモノニ對シ「コールマネー」借入金等ノ名稱ヲ附シ第七條ニ反スル取扱ヲ爲スコトヲ得ス

第十二條　內國爲替勘定預金利率ハ第六條小口當座預金利率限度ヲ超過スルコトヲ得ス

第十三條　當座預金利息ノ計算ハ日々ノ最低殘高ニ依ルモノトス

當座預金參百圓未滿ニハ利子ヲ附セス但百圓ヲ以テ單位トス

名古屋銀行集會所

第三章 違約處分

第十四條 組合銀行ニ於テ本規約所定ノ限度ヲ超過シタル利息ヲ支拂ヒ若クハ其約定ヲ爲シタルモノハ實行委員ノ審査ヲ經タル上組合銀行總會ノ決議ニ依リ違約金參千圓ヲ徴スヘシ

第十五條 前條ノ違約金ヲ徴セラレタル銀行ニシテ再ヒ協定ニ違反シタルトキハ實行委員ノ審査ヲ經タル上組合銀行總會ノ決議ニ依リ名古屋手形交換所組合銀行及名古屋銀行集會所組合銀行ヲ除名スヘシ

前項及第十四條ノ決議ハ組合銀行三分ノ二以上ノ多數ヲ得ルコトヲ要ス

第四章 實行委員及審査員

第十六條　本規約實行ノ爲メ組合銀行ニ於テ其總員ノ半數ヲ實行委員ニ選擧スヘシ選擧ノ方法ハ名古屋銀行集會所規約中委員ニ關スル條項ヲ準用シ其任期ヲ二ケ年トス

第十七條　實行委員ハ規約違反ノ事實ヲ審査セシムル爲メ審査員三名ヲ選定ス

審査員ハ組合銀行中ヨリ二名及名古屋銀行集會所書記長ヲ以テ之ニ充ツ但銀行ハ[illegible]二月一日ヨリ實施スルモノトス

選定セラレタル審査員ハ故ナク辭任スルヲ得ス

第十八條　實行委員ハ審査員ヨリ規約違反ノ事實ヲ認定シタル報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ被審査銀行ニ告知シ三日ヲ經テ異議ノ申出ヲ受ケサルトキハ第十四條及第十五條ノ手續ヲ行フ

第十九條　被審査銀行ニシテ前條ノ告知ニ對シ異議アルトキハ帳簿及關係書類ヲ審査員ニ閲覧セシムルコトヲ諾シ再審査ヲ請求スルコトヲ得

再審査ノ結果實行委員ノ認定ニ對シテハ更ニ異議ヲ申出ツルコトヲ得

第五章　附則

第二十條　本規約ハ大正九年二月一日ヨリ實施スルモノトス

前項期日前ニ取扱タル定期預金利率ハ其期日迄之ヲ變更スルヲ要セスト雖モ滿期後ノ利率ハ第七條ノ限度ヲ超過スルコトヲ得ス當座預金、特別又ハ小口當座預金及通知預金利率ハ施行期日ニ於テ變更スルモノトス

第二十一條　組合銀行ハ施行期日前ニ預金公表利率ヲ新聞紙ニ廣告スヘシ爾後改正ノ場合亦同シ

廣告ノ費用ハ組合銀行均一ニ負擔スルモノトス

第二十二條　預金ハ如何ナル名稱ヲ以テスルモ其實質ニ從ヒ第六條及第七條ニ規定シタル利率ヲ適用スルモノトス

通知預金小口當座預金其他如何ナル名稱ヲ以テスルモ小切手ヲ使用スルモノハ當座預金ト看做ス

第二十三條　貯蓄預金ノ利率ハ年利計算ノモノハ定期預金中四日歩計算ノモノハ特別又ハ小口當座預金ノ利率ヲ超過スルコトヲ得ス

第二十四條　各預金證書ニハ其利率（第七條ニ依リ利率ヲ増加

シタルモノハ其利率一ヲ明記スルコトヲ要ス

第二十九條　組合銀行ハ貨金受拂ノ爲メ集配人ヲ派出スルコトヲ得ス但豫メ届出ヲ爲シタル特定ノ場所ニ派出員ヲ出張セシムルハ此限リニアラス

第二十六條　本規約ノ廢止又ハ條項ノ變更ハ組合銀行三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

本規約加盟ノ證トシテ左ニ記名捺印シ名古屋銀行集會所ニ保存スルモノナリ

大正九年二月十四日

コールマネー利率ニ關スル申合

「コールマネー」ノ利率ヲ左ノ通リ定ム

一、無條件「コールマネー」（翌日拂ヲ含ム）ノ利率ハ小口當座預金ノ利率ヲ超過スルコトヲ得ス

二、三十日以上据置「コールマネー」ノ利率ハ定期預金ノ公表利率ヲ超過スルコトヲ得ス

三、一般銀行及ビルブローカー間ノ「コールマネー」ハ前二項ニ依ルノ限ニアラス

四、「コールマネー」ノ取引ニ就テハ翌日拂ヲ除ク外預金證書ヲ使用スルコトヲ得ス

附帶規約

一、本組合銀行ノ各地支店出張所ハ可成本規約ノ利率又ハ之ニ近キ利率ヲ以テ當該地方ノ同業者ヲシテ實行セシムルコトヲ勉ムルコト

二、協定規約第二條ノ附近町村ハ左ノ如ク之ヲ定ム

批杷島、新川、枚野、淸水、大曾根

規約ノ變遷ニ関スル書類

大正　　年　　月　　日

日本銀行名古屋支店

大正八年三月十八日左ノ通リ決議セリ

名古屋銀行集会所

一、定期預金ノ満期日カ公休日ニ相当シ其次ノ営業日ニ支払ヲナス場合ニハ小口又ハ特別當座預金ノ利率以上ヲ附スルコトヲ得ズ

二、在外者ノ預金ニシテ定期預金ノ取扱ヲナスモノハ名称ノ如何ニ拘ラス定期預金利率迄ヲ附スルコトヲ得

以上

写

大正八年七月十八日臨時株主総会ニ於テ左ノ通決議
相成候間此段及御報告候也

資金払戻規定ヲ定ムル申合

一 定期預金期限内ノ払戻ハ自然期限ノ来リ経過
スルニ付テハ契約利率ノ年利五厘引トス

二 期限ノ来リ経過セサル定期預金ノ払戻利息ハ
ナカル事決定ス

三 期限ノ来リ経過スルモ三ケ月未満ノモノハ付セサル事
決定ス

以上

大正八年七月十八日 組合銀行集会所

大正八年九月十五日左ノ通リ申合ヲナセリ

名古屋銀行集会所

一、従来ノ慣例ニ従ヒ年末及中元ニ於テ軽微ノ贈物ヲ得意先ニ配付スルハ差支ナキモ商品券其他相当ノ価格ノ物品ヲ贈物トスルハ協定違反ト認ムルコト

二、協定利率以上ノ預金利子ヲ仕払ハンカ為メ協定区域外ノ銀行名義ヲ以テ預金ヲ受入ルトキハ協定違反ト認ムルコト

右二ケ条ノ申合ハ各自徳義ヲ重ンジ之ヲ遵守スヘキニ付特ニ成文ヲ以テ規定セス

組合銀行申合

預金協定規約第十六條ヲ左ノ如ク改正ス

第十六條　本規約實行ノ爲メ組合銀行ニ於テ其總員ノ半數ヲ實行委員ニ選擧スヘシ選擧ノ方法ハ名古屋銀行集會所規約中委員ニ關スル條項ヲ準用シ其任期ヲ半ヶ年トス

大正九年一月十六日

名古屋銀行集會所

預金協定利率ノ變更ニ伴フ決議事項中左ノ二項ヲ追加ス

一、内國爲替勘定預金利率ハ日歩一錢三厘以下トス

一、定期預金證書ヲ根抵當トスル場合ハ定期預金利率ヨリ三厘ノ高歩ヲ附スルモノトス

但シ定期預金ノ契約期間中ニ係ルモノハ其期間ノ經過スルマテ在來ノ儘トス

大正九年一月二十八日

名古屋銀行集會所

當組合銀行ハ本月十四日定時集會ニ於テ預金協定規約別紙ノ通リ修正致候間御承認被下度此段得貴意候

大正九年二月十六日

名古屋組合銀行常務委員

愛知銀行

頭取渡邊義郎

日本銀行名古屋支店長

星埜章殿

預金協定規約

第六條　預金公表利率左ノ如シ

定期預金　年利　六分五厘以下

當座預金　日歩　一錢一厘以下

特別又ハ小口當座預金　日歩　一錢三厘以下

通知預金　日歩　一錢五厘以下

第七條　組合銀行ハ得意先ノ關係等ヲ斟酌シテ甲乙二種ニ分チ乙種ハ左ノ限度迄利率ヲ增加スルコトヲ得

定期預金限度　年利　二厘以下

當座預金限度　甲乙ナシ

特別又ハ小口當座預金限度日歩　一厘以下

通知預金限度　甲乙ナシ

甲乙兩種ハ各組合銀行ノ自ラ撰擇スル所ニ依ル但其撰擇ヲ不當ト認ムルトキハ組合銀行三分ノ二以上ノ決議ヲ以テ之ヲ變更スルコトヲ得

第十二條　内國爲替勘定預金利率ハ第六條小口當座預金利率ノ限度ヲ超過スルコトヲ得ス

第二項削除

第二十條　本規約ハ大正九年二月一日ヨリ實施スルモノトス

第三項削除

附帯規約

附帯規約第二項ニ擧クル附近町村ノ内ニ左ノ如ク追加ス

稻生、荒子、呼續、御器所、大高、鳴海、勝川、瀬戸、小碓
烏森、

同規約中左ノ二項ヲ加フ

三、通知預金ハ一口三萬圓以上トシ通帳ヲ發行セス預金證書ト爲シ其内出ヲ許サス

四、同業者ノ定期預金利率ハ別ニ定ムル所ニ依ル

貸出協定規約解釋例中貸出ノ部ヘ左ノ一項ヲ加フ

二、定期預金證書ヲ擔保トスル貸付割引及當座貸越根抵當ハ定期預金利率ヨリ日歩三厘以上ノ高歩ヲ付スルモノトス
但貸付割引ハ其返濟期限當座貸越ハ定期預金證書ノ契約期限中ニ係ルモノハ其期限ノ滿了スルマテ在來ノ儘ト爲シ置クコトヲ得

議事報告

拜啓十八日定時集會ニ於テ左ノ如ク決議相成候間此段御承知被下度候

一、預金利率協定規約中同業者ノ定期預金利率ニ關スル規定ヲ撤廢スルコト

大正九年三月十九日

名古屋銀行集會所

決議

定期預金利子ニ對スル所得税ハ利子支拂ノ際銀行ニ於テ該税金額ヲ控除シテ支拂ヲナスモノトス

但シ東京及ヒ大阪組合銀行ニ於ケル決議ニシテ之ト相違スル場合ハ改メテ右決議ヲ變更スルコトアルヘシ

大正九年七月二十九日臨時集會ヲ開キ預金協定規約ノ追加トシテ右ノ如ク決議ス

大正九年七月三十一日

名古屋銀行集會所

決議報告

大正九年九月十五日定時集會ヲ開キ左記事項ヲ決議相成候間此段及御報告候

決議事項

一安田貯蓄銀行支店ノ預金協定乙種ノ申込ニ對シテハ之ヲ承諾セサルコト

一定期預金ハ一部ノ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

大正九年九月十六日

名古屋銀行集會所

追テ安田貯蓄銀行支店ニ於テハ今十六日乙種ノ申込ヲ撤回シ甲種トシテ預金協定ノ加盟ニ決定致候間併テ玆ニ及御報告候

拜啓陳者本月廿六日當集會所組合銀行臨時集會ヲ開キ預金利率協定規約改正ニ關シ左記ノ通滿場一致ヲ以テ可決致候間御承認相成度候

決議事項

一、預金利率協定規約改正

第六條預金公表利率左ノ如シ

定期預金	年利	五分七厘以下
當座預金	日歩	八厘以下
特別又ハ小口當座預金	日歩	壹錢壹厘以下
貯蓄預金	年利	五分〇四毛以下
	日歩	壹錢壹厘以下
通知預金	日歩	壹錢貳厘以下

第七條組合銀行ハ得意先ノ關係等ヲ斟酌シテ甲乙二種ニ分チ乙種ハ左ノ限度迄利率ヲ増加スルコトヲ得

定期預金限度	年利	參厘以下
當座預金限度	日步	壹厘以下
特別又ハ小口當座預金限度	日步	壹厘以下
貯蓄預金限度	甲乙ナシ	
通知預金限度	甲乙ナシ	

第十三條第二項ヲ左ノ如ク改ム

當座預金五百圓未滿ニハ利子ヲ附セス但シ百圓ヲ以テ單位トス

第廿三條据置貯金定期積金其他之ト類似ノ性質ヲ有スル貯蓄預金ノ利率ハ年利計算ノモノハ定期預金甲種ノ利率ヲ超過

スルコトヲ得ス

右來ル三月一日ヨリ實施ノ事

以　上

大正十年二月廿六日

名古屋銀行集會所

常務委員　大三輪奈良太郎

日本銀行名古屋支店長

星　埜　章　殿

追テ伊藤銀行ヨリ甲種ニ變更致度旨申出有之候間申添候也

預金協定規約ニ關スル申合事項

大正十年七月十五日決議

一、官公署其他特別ノ場合ノ外預金ニ對シテハ擔保ヲ提供セサルモノトス

名古屋銀行集會所組合銀行預金利率協定規約中第六條ハ七月二十九日臨時集會ニ於テ左ノ如ク改正シ八月五日ヨリ實施致事ニ決定仕候間右御承認被成下度此段及御通知候也

大正拾年七月二十九日

名古屋銀行集會所組合銀行常務委員

株式會社愛知銀行頭取　渡邊義郎

日本銀行名古屋支店

支店長　星埜章　殿

名古屋銀行集會所組合銀行預金利率協定規約第六條ヲ左ノ如ク改正ス

第六條　預金公表利率左ノ如シ

定期預金	年利	五分貳厘以下
當座預金	日歩	七厘以下
特別又ハ	日歩	壹錢以下
小口預金	日歩	壹錢以下
貯蓄預金	年利	四分八厘以下
通知預金	日歩	壹錢壹厘以下

第七條　從前ノ如シ

右大正拾年八月五日ヨリ實施ス

但シ第十二條規定ノ內國爲替勘定預金利率ハ八月十五日ヨリ
改正實施スルコト

申合事項

一　預金協定規約第二十三条ノ規定ニ対シテ据置貯金定期預金其他之ト類似ノ性質ヲ有スル貯蓄預金利率カ第六条ノ利率ト抵觸スルトモ當分黙認スルモノトス

一　定期預金ノ期日ハ暦月ニ依ルモノトス

一　綿糸代金ハ今後其取立依頼ニ應セサルコトヲ書記長ヨリ関係紡績会社ニ通告スルコト

以上　大正十年七月二十九日

拜啓陳者當組合銀行預金協定利率別紙ノ通改正シ來ル四月一日ヨリ
實施致度候間御承認相成度候

大正十一年三月廿五日

名古屋銀行集會所
常務委員　大三輪奈良太郎

日本銀行
名古屋支店長　川島榮三郎殿

預金利率協定規約改正之件

第六條　預金公表利率左ノ如シ

定期預金	年利	六分以下（八厘上ケ）
當座預金	日歩	七厘以下（据置）
小口又ハ特別當座預金	日歩	一錢一厘以下（一厘上ケ）
貯蓄預金	年利	四分八厘以下（据置）
	日歩	一錢一厘以下（一厘上ケ）
通知預金	日歩	一錢二厘以下（一厘上ケ）

第七條　現行規約ノ通リ

第十條　定期預金ノ期限ハ如何ナル場合ト雖モ六ケ月ヲ下ルコトヲ得ス但シ六ケ月以内ニ於テ拂戻ス場合ハ其利率ハ特別又ハ小口當座預金ノ利率ヲ超過スルコトヲ得ス

第二十條　本規約ハ大正十一年四月一日ヨリ實施スルモノトス

解釋例及決議事項変更ノ件

一、期限経過後ノ定期預金ヲ六ヶ月以内ニ仕拂フ場合ノ利息歩合ハ小口又ハ特別當座預金ノ利率ヲ超過スルコトヲ得ス

一、期限ノ半ヲ経過スルモ六ヶ月未満ノ定期預金ノ仕拂利息ハ小口當座日歩トス

實行委員中當番委員設置ノ件

一、都度實行委員中ヨリ當番委員ヲ設クルコト

上半季中ノ當番委員左ノ如シ

三月及四月中　正金支　七十四支　台銀

五月中　明治　十六支　友東支

六月中　十五支　三菱支　山口支　村井

日本銀行名古屋支店

加盟銀行異動ニ関スル書類

大正　年　月　日

増田ビルブローカー銀行名古屋支店ハ

大正九年八月十五日限リ閉鎖為 組合銀行ヲ脱退ス

七月十日開設ノ十五（當時浪速）銀行名古屋支店並ニ九月一日開設ノ百五銀行名古屋支店ハ何レモ開設ト同時ニ又八月廿一日開設シタル安田貯蓄銀行名古屋支店ハ本日ニ至リ夫々當市組合銀行預金協定ニ加盟セリ
因ニ十五銀行支店幷ニ安田貯蓄銀行支店ハ甲種、百五銀行支店ハ乙種

大正九年九月十六日

通知書

株式會社出口銀行名古屋支店ハ今般預金協定甲種並ニ貸出協定ニ參加致候間此段御通知申上候

大正九年拾一月四日

名古屋銀行集會所

日本銀行名古屋支店長

星埜章殿

拜啓陳者今回横濱正金銀行名古屋出張所ニ於テハ當組合銀行預金及貸出利率協定規約ニ加盟シ同ホ預金利率協定規約第七條ノ種類ハ甲種ノ申出ニ有之候間此段御通知申上候

大正十年七月廿二日

名古屋銀行集會所

日本銀行

名古屋支店長　星埜章　殿

決議報告

大正十年十一月四日臨時集會ニ於テ左記事項決議相成候間此段御通知申上候

一、三重共同貯蓄銀行名古屋代理店ヨリ當組合銀行預金利率協定規約（乙種）ニ加入申込ニ對シ承認スル事

大正十年十一月四日

名古屋銀行集會所

日本銀行名古屋支店御中

決議報告

大正十一年二月六日臨時集會に於て左記の通決議相成候間此段御通知申上候

追而預金協定規約第七條但書に關しては乙種の申出に付御諒知相成度候

記

一、株式會社尾三銀行の來二月十五日より當集會所組合銀行へ加入申込に對し承認する事

以上

大正十一年二月六日

名古屋銀行集會所

日本銀行名古屋支店

御中

拝啓陳者預金及貸出協定規約並ニ手數料徴收規約に對し本月七日左記貯蓄銀行何れも正式に調印を了し候間此段御通知申上候

記

甲種
伊藤貯蓄銀行　左右田貯蓄銀行
名古屋貯蓄銀行　乙種　村瀬貯蓄銀行
丸八貯蓄銀行　農商貯蓄銀行

大正十一年二月八日　名古屋銀行集會所

日本銀行名古屋支店

御中

決議報告

大正十一年三月八日臨時集會に於て左記の通決議相成候間此段御通知申上候

追而預金協定規約第七條但書に關しては乙種の申出に付御諒知相成度候

記

一、株式會社多治見銀行名古屋支店の來三月十一日より當集會所組合銀行へ加入申込に對し承認する事

以上

大正十一年三月八日

名古屋銀行集會所

日本銀行名古屋支店

御中

同時ニ丸八貯蓄
伊勢貯蓄ハ
日本貯蓄銀行ニ
併合

決議報告

大正十一年九月十五日臨時集会ニ於テ左記ノ事項決議候ニ付此段報告候也

記

一　日本貯蓄銀行ハ明治銀行ニ譲渡スルコトトナリ新規加入ノ手続ヲ省略シ集会所加盟銀行名簿ヨリ之ヲ除退ス

以上

大正十一年九月十五日

名古屋銀行集会所

加盟銀行御中

寫

決議報告

大正十五年二月十五日定時総会ニ於テ左記事項
決議相成候ニ付此段報告候也

一 株式会社十六銀行名古屋支店ノ代理交換ニ
組合銀行脱退届ニ対シ承認ノ件

大正十五年二月十五日　名古屋手形交換所

組合銀行御中

名古屋銀行集會所組合銀行

預金協定規約實行委員

大正十四年上半季分

名古屋銀行

愛知農商銀行

明治銀行

尾三銀行

日本貯蓄銀行

近江銀行名古屋支店

神田銀行名古屋支店

横濱正金銀行名古屋支店

左右田銀行名古屋支店
三菱銀行名古屋支店
住友銀行名古屋支店

日本銀行名古屋支店

大正　年　月　日

乙、丹羽郡

調査資料
14.3.10
調査局

明治三十七年拾月八日郡銀行主脳者協議ニ依リ
同盟ヲ組織シ相互親睦ヲ計ル為(回)規約ヲ
作製明治四十二年七月八日迄継続セシモ北
部トハ事情ノ相違且ツ會合不便ノ為メ
一時閑散シ更ニ古知野町以南ノ同業者
仝年七月二十二日集會新タニ丹羽郡同
盟會ヲ組織シ其后時勢ノ変遷ニ依リ
規約ノ改正ヲナシ引続キ現今ニ至リ
別紙規約ノ範囲ヲ各行共遵守ス

大正拾四年貳月拾日 丹羽郡同盟銀行會解ス

追テ現行ニ至ル迄ノ事蹟ハ書類不整備ノ為メ
詳細判明致サス

丹羽郡同盟銀行規約書

第一条 本會ハ丹羽郡内ニ本支店出張店ヲ有スル銀行業者ヲ以テ組織シ丹羽郡同盟銀行會ト称ス

第二条 本會ハ相互ニ誠意ヲ以テ親睦ヲ保持シ営業上ノ利害ヲ攻究シ斯業ノ進歩ヲ図ルヲ以テ目的トス

丹羽郡同盟銀行規約書

第一条 本會ハ丹羽郡内ニ本支店出張店ヲ有スル銀行営業者ヲ以テ組織シ丹羽郡同盟銀行會ト称ス

第二条 本會ハ相互ニ誠意ヲ以テ親睦ヲ保持シ営業上ノ利害ヲ攻究シ斯業ノ進歩ヲ図ルヲ以テ目的ス

第三条 本会ハ毎年輪番ヲ以テ幹事一行ヲ置キ其ノ年中ノ事務ヲ処理シ次番幹事ニ引継ヲ為スベシ

前項ノ幹事ハ参考ニ資スル為其中取扱ヒタル庶務ノ要件及出席人名等ヲ記録ニ掲記シ置クベシ

第四条 本會ハ一月ヨリ始メ隔月ノ八日（休日ナレバ翌日）ヲ以テ定式會ヲ郡ノ中央ナル役所ニ於テ開催ス幹事ノ都合ニ依リ會所ヲ変更スルコトヲ得

但シ一月ノ會日ニハ新年宴會ヲ兼ヌルヲ以テ特ニ五日
ニ限リ定式名以上出席スルモノトス
第五条 幹事ニ於テ臨時集會ヲ必要トスル場合又ハ正式
會員五名以上ヨリ集會ヲ要求スル場合ハ臨時會ヲ開会スルモノトス
第六条 定式會員ハ臨時會ニハ特ニ定メタルモノヲ除クノ外
一年二名以上必ズ出席スルコト
第七条 各定式出席次ハ毎年一月定式會ニ於テ抽籤
法ニ依リ之ヲ定ム
第八条 本會ハ同盟ヲ確実ニスル為メ信認金トシテ一行
金五拾円宛ヲ出金シ本會ニ積立置クモノトス
但此積立金ハ利付トシ其場合ハ適当ナル銀行ヘ定
期預金トシ其手続ハ幹事ニ一任シ其通帳預リト

定メ其積金預書ハ幹事ニ於テ保管スルコト
第九条 本會ヘ加盟ヲ請フモノハ会員一名以上ノ紹
介ヲ要ス又本會ヨリ退会セントスル時ハ退會ノ理由ヲ
認メタル書面ヲ提出シ出會ノ決議ヲ経テ幹事ヨリ之
ガ諾否ヲ通知セシムベシ

定メ其醵金佰者ハ幹事ニ於テ保管スルコト
第九条 本会ヘ加盟ヲ請フモノハ会員二行以上ノ紹
介ヲ要ス又本会ヲ退会セントスル時ハ退会ノ理由ヲ
認メタル書面ヲ提出シ会員ノ決議ヲ経テ幹事ヲシ
テ諾否ヲ通知セシムヘシ
第十条 同盟各銀行ニ於ケル諸醵金貸付金利
子及ヒ其利息計算法ニ就テハ協議ヲ以テ之ヲ定ム
第十一条 同盟銀行ニ廻シ来ル諸手形及其振出人ハ観察ノ
便利ヲ図リ交換ヲ為スヘシ但時宜ニ依リ謝絶スルコト
アルヘシ
第十二条 同盟銀行中ニ危険ノ事件ニ従事スル歟又ハ
背徳ノ行為アルモノハ一應忠告シテ尚改悛セサルニ於テハ

株式 岩倉銀行

決議ヲ経テ断然除名シ其旨ヲ新聞紙ヘ公告スルコトアルベシ

第十三条　本会ニ要スル経費ハ各行ヨリ分担スルモノトス

第十四条　此規約ヲ改正加除セントスル時ハ本会ノ決議ヲ経テ変更スルコトヲ得

右規約ヲ確守スル為メ同盟人各銀行ニ於テ記名捺印ノ上各行壱部宛領置スルモノナリ

明治三十六年三月八日

丹羽郡同盟銀行会

[illegible]書記　岩倉銀行

仝　犬山銀行

仝　一宮銀行布袋出張所

仝　[illegible]銀行

仝　一ノ宮銀行[illegible]田支店

仝　丹羽[illegible]

仝　古知野銀行

會社 岩倉銀行

仝　一の銀ヨリ早田之[illegible]

仝　丹葉ヨリ入

仝　右参[illegible]銀行

株式
岩倉銀行

出羽郡同盟銀行規約

第一條 本組合ハ信義互讓ヲ旨トシテ攻守ヲ同盟シ親睦ヲ保持シ営業上ノ利害得失ヲ審査講究シ斯道ノ進歩發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

會社 岩倉銀行

丹羽郡同盟銀行規約

第一条　本組合ハ信義互譲ヲ旨トシテ攻守ヲ同盟シ親睦ヲ保持シ営業上ノ利害得失ヲ審査講究シ斯道ノ進歩発達ヲ図ルヲ以テ目的トス

第二条　本組合ハ丹羽郡同盟銀行ト稱ス

第三条　本組合ノ範囲ハ左ノ町村ヲ抱括シテ営業区域ト看做ス

岩倉町、布袋町、古知野町、千秋村
丹陽村、西成村、柏森村、大口村

第四条　本組合ニ同盟スヘキ銀行ハ第三条ノ区域内ニ店舗ヲ有スル本店支店出張店ト

株式 岩倉銀行

同盟銀行ニ属スル出張及代理店ニシテ本
区域外ト雖其地ノ組合ニ加盟セサルモノハ
本規約ニ遵フモノトス

第五条 本組合ハ同盟ノ證トシテ各自金弐百
円ヲ積立ルモノトス但左ノ各項ニ該當
スル時ハ之ヲ還付ス

一 店舗ヲ閉鎖シタル時
二 組合員タル資格消滅シタル時
三 組合ヲ解散シタル時

第六条 本組合ハ各種ノ預金及諸貸付金
ノ利率手割引料等渾テ協定ノ上之ヲ
實行ス

第七条 手形金ニシテ期日前辨済ヲ受クル場
合其既収割引料ノ拂ヒ戻シハ原割引
歩合ヨリ弐厘未満ヲ減スルコトヲ得ス

第八条 定期預金証書ヲ担保トスル手形貸付
ノ割引料ハ預金ノ利子ヨリ日歩ニ換算
シ百円ニ付日歩五厘以上ヲ加差ニ徴充
モノトス

第九条 定期預金ノ途中解約ハ絶対ニ之ヲ諾
スルコトヲ得ス

[illegible]

第七条　手形金ニシテ期日前辨済ヲ受クル場合其既収割引料ノ拂ヒ戻シハ之ヲ割引歩合ヨリ弐厘未満ヲ減スルコトヲ得ス

第八条　定期預金証書ヲ担保トスル手形貸付ノ割引料ハ預金ノ利子ヨリ日歩ニ換差シ百円ニ付日歩五厘以上ヲ加算シ徴収モノトス

第九条　定期預金ノ途中解約ハ絶体ニ之ヲ諾スルコトヲ得ス

但天災地変其他萬已ムヲ得サル場合ニ限リ途中解約ヲナス時ハ左ノ各項ニ依リ利子ヲ支拂フコトアルヘシ

株式会社 岩倉銀行

一 期間三十日ニ満タサルモノハ無利子

二 契約期間半ニ至ラサルモノハ當座利子

三 契約期間半以上ニ達シタルモノハ小口當座利子

第十条 通知預金小口當座預金其他如何ナル名稱ヲ以テスルモ小切手ヲ使用スルモノハ當座預金ト看做ス

前項ノ利息ハ當座預金ノ利率ニ依ルモノトス

第十一条 從来ノ慣例ニ從ヒ年末ニ於テ輕微ノ贈物ヲ得意先ニ配付スルハ差支ヘナキモ商品券其他相當價格ノ物品ヲ贈物トナスコトヲ得ス

~~第十二条~~ 但必要ノ場合ハ豫メ組合ノ承諾ヲ求ムルコトヲ要ス

第十二条 本組合ノ事務ヲ処理スル爲メ幹事一名ヲ置ク但幹事ハ輪番トシ任期ハ一ケ年トス

第十三条 ~~幹事~~ 本組合ニ左ノ帳簿ヲ備フ

一 金銭出納簿

二 會費明細納仕譯帳

前項ノ利息ハ當座預金ノ利率ニ依ルモノトス
第十一条 従来ノ慣例ニ従ヒ年末ニ於テ輕微ノ贈物ヲ得意先ニ配付スルハ差支ヘナキモ商品券其他相當價格ノ物品ヲ贈物トナスコトヲ得ス
第十二条 但必要ノ場合ハ總テ組合ノ承諾ヲ求

ムルコトヲ要ス
第十二条 本組合ノ事務ヲ處理スル為メ幹事一名ヲ置ク但幹事ハ輪番ニ任期ハ一ケ年トス
第十三条 ~~組~~幹事ハ本組合ニ左ノ帳簿ヲ備フ
一 金銭出納簿
二 會費明細仕譯帳
三 記事録其他必要ナル帳簿
第十四条 重要ニシテ激務ニ渉ル要アル時ハ臨時ニ書記ヲ雇ヒ入ルルコトヲ得
第十五条 本組合ノ經費ハ各行均一ニ負擔スルモノトス
但運動會宴會等ノ場合ハ出席人員ニ割

株式會社 岩倉銀行

充ルモノトス

第十六条　本組合ノ積立金ヨリ生スル利子ハ左ノ各項ニ充テ支出スルコトヲ得

一　新聞廣告料

二　毎年二季ノ視察費及運動會費

三　組合經費ノ補充

第十七条　經費ノ収支ハ幹事之ヲ行フ

但収支ノ決算ハ翌年一月中ニ報告スルモノトス

第十八条　本組合ノ會議ハ總會通常會臨時會ノ三種トス

一　總會ハ毎年一月之ヲ開キ新年宴會ヲ

挙行ス

二　通常會ハ毎月一回之ヲ開ク

三　臨時會ハ緊急必要アル場合ニ之ヲ開催ス

但収支ノ…
モノトス
第十八条 本組合ノ会議ハ総会通常会臨時
会ノ三種トス
一 総会ハ毎年一月之ヲ開キ新年宴会ヲ

催行ス
二 通常会ハ毎月一回之ヲ開ク
三 臨時会ハ緊急必要アル場合ニ之ヲ開催ス
第十九条 会議ノ開閉ハ幹事之ヲ行フ
但会場ハ幹事ノ定ムル処ニ依ル
第二十条 会議ニ列スル行員ハ各其行ヲ代表
スル資格アル者ニ限ル
但前以テ幹事ニ申出事故ヲ届出タル
者ハ此ノ限リニアラス
第二十一条 第三条ノ区域内ニ於テ開店シ又ハ開
店ヲ為サントスル者ハ本組合ニ加盟ノ義
務アルモノトス

第二十二条　本組合ヲ退會セントスル者ハ退會ノ
理由ヲ具シ承認ヲ得ヘシ
第二十三条　本組合規約ニ違背シタル者ハ左ノ各
項ニ依リ相當處分ヲ行フコトアルヘシ
一　軽微ノ行為ハ忠告
二　第四条ノ二号第十条第十七条但書ノ
行為ハ適當金員一ケ月分ヲ課ス
三　第六条第七条第八条第九条第十一条
ノ行為ハ除名又ハ積立金ヲ没収ス
第二十四条　本規約ハ大正十三年四月十五日ヨリ之
ヲ施行ス
~~第二十五条　本規約加盟ノ證トシテ左ニ記名捺~~

第二十五条 本規約ノ改正修補ハ組合員三分ノ二
以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス
第二十六条 本規約加盟ノ證トシテ左ニ記名捺
印シタル各行一部ヲ以テ之ヲ保存ス
第二十七条 本規約施行ノ日ヨリ從前ノ規定ハ
凡テ之ヲ廢止ス
大正十三年四月八日
丹羽郡同盟銀行一同

株式 岩倉銀行

仮定預金利子

甲 定期預金利子 一ケ年 七朱三厘以下

名古屋銀行古知野支店 丹羽銀行

村銀行布袋支店 大垣共立銀行江南支店

乙

定期預金利子 一ケ年 七朱五厘以下

山石金融銀行 幼銀行 千秋銀行

但千秋村之店舗ハ有ルモ銀行ハ壱朱高ヲ認ム

當座預金利子一般ニ亀強寧ナリ

日歩金壱銭五厘位ヲ認ム

3、

尾北

調査資料
14.3.10
調査局

大正元年十二月

組合銀行預金利率協定規約

大正七年十二月（創始）

尾北組合銀行預金利率協定規約

大正　年　月　日

乙株式會社尾州銀行一宮支店

乙株式會社稲沢銀行萩原支店

尾北組合銀行預金利率協定規約

第一章 總則

第一條 尾北組合銀行ハ現在ノ情況ニ鑑ミ預金ノ協定ヲ必要トシ本規約ヲ定メ之ヲ誠實ニ遵守スルコトヲ約ス

第二條 一宮町及其附近ニ於ケル組合銀行ノ左ノ營業所ハ本規約ノ適用ヲ受クルモノトス

株式會社愛知銀行一宮支店南派出所
株式會社起銀行一宮支店
株式會社起銀行宮山支店

當座預金 日歩八厘
特別又ハ小口當座預金 日歩壹錢壹厘

通知預金利率ハ特別又ハ小口當座預金利率ト同一トス

第七條 組合銀行ハ得意先ノ關係ヲ斟酌シテ甲乙二種ニ分チ各左ノ限度迄利率ヲ増加スルコトヲ得

定期預金限度 年利（甲 七厘／乙 九厘）
當座預金限度 日歩（甲乙共）參厘
特別又ハ小口當座預金・通知預金 限度 日歩（甲乙共）參厘

前項甲乙両種ハ各組合銀行ノ自ラ撰擇スル所ニヨル但一旦選定シタル上ハ組合銀行過半數ノ承諾ヲ得ルニアラサレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第八條 組合銀行ハ前條ニ依リ利率ヲ增加スル外如何ナル名義又ハ方法ヲ以テスルニ拘ラス之ヨリ超過シタル利息ヲ支拂フコトヲ得ス但使用人ノ强制積立金身元保證金及救濟、奬勵、優遇ヲ目的トスル使用人ノ預金ハ此限リニアラス

第九條 組合銀行ハ各種預金ノ利息ヲ前拂スルコトヲ得ス

乙 株式會社尾州銀行一宮支店
乙 株式會社稲澤銀行萩原支店

第十條　定期預金ノ期間ハ如何ナル塲合ト雖モ三ヶ月ヲ下ルコトヲ得ス但三ヶ月以内ニ於テ拂戻ス塲合ハ其利率ハ特別又ハ小口當座預金ノ公表利率ヲ超過スルコトヲ得ス

第十一條　組合銀行ニシテ「コールマネー」借入金等預金ニアラサルモノヲ預金科目ニ編入シタルトキハ之ヲ預金ト看做ス實質上預金タルヘキモノニ對シ「コールマネー」借入金等ノ名稱ヲ附シ第七條ニ反スル取扱ヲ爲スコトヲ得ス

第十二條　內國爲替勘定預金利率ハ第七條小口當座預金利率ノ限度ヲ超過スルコトヲ得ス

諸貸付金ノ內入返濟金ヲ別段預金トスル塲合ハ其利率ハ貸付利率ト同一ニスルヲ妨ケス

第十三條　當座預金利息ノ計算ハ日々ノ最低殘高ニ依ルモノトス

當座預金百圓未滿ニハ利子ヲ附セス但百圓ヲ以テ單位トス

規約ヲ準用ス

第十七條　執行員ハ規約違反ノ告知ヲ受ケタルトキハ直ニ組合銀行總會ヲ招集シ調査委員若干名ヲ選擧ス

選定セラレタル調査委員ハ故ナク辭任スルヲ得ス

第十八條　執行員ハ調査委員ヨリ規約違反ノ事實ヲ認定シタル報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ被調査銀行ニ告知シ三日ヲ經テ異議ノ申出ヲ受ケサルトキハ第十四條及第十五條ノ手續ヲ行フ

第十九條　被調査銀行ニシテ前條告知ニ對シ異議アルトキハ帳簿及關係書類ヲ調査委員ニ閲覧セシムルコトヲ諾シ再調査ヲ請求スルコトヲ得

再調査ノ結果調査委員ノ認定ニ對シテハ更ニ異議ヲ申出ツルコトヲ得ス

乙株式會社尾州銀行一宮支店

乙株式會社稲沢銀行萩原支店